（明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可）（日刊）月曜及祭日の翌日休刊　明治四十三年十二月十日（土曜日）　第五百七十六號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六二）
發行所　京城新報社

群馬移民落着（下）
（京城府廳の報告）

第五壯年者中荻原元は群馬縣高山舍（中學程度の養蠶傳習所）を卒業し巡回教師の經歷あるを以て農商工部に依賴し勸業模範場群山支場雇員に採用され其他は臨時土地調査局測量人夫に三人（外に代表者田口紋之助）總督府鐵道局工作課人夫に五人是れ亦殘らず採用さるゝに至れり

以上の如く團員中家事の係累上止を得ざる者を除き全部就職するを得たるを以て學齡中に在る兒童九名の教育に關し京城居留民團と協議の上月謝の免除を得て南大門尋常高等小學校に八人永登浦尋常高等小學校へ一人就學せしめ日々通學しつゝあり又團員病傷の場合を考慮して豫め漢城病院長に依賴せし に施療として取扱與ふることに快諾を得たり

一團員の決心と將來の方針

前段の如く各方面の同情に浴し多少の餘裕ある際速に全部就職することを得たるは彼等の怡は喩ふるに物なく各々其職に勵精すべきことを誓ひ中にも模範農場、昌德宮其他の就職者にして今日の待遇に對し渡鮮本年の目的以上なりとし臨時の職を以て終生の業とならんことを希ふものあり然して昨今會社に於ける契約移民募集の事情を稍々諒解するに至り餘裕多からざる彼等に在ては其資格上缺如する所もあり會社の承認のみに倚賴すべくも非らざれば縱令會社の容るゝ所とならざるも初志を貫徹して飽迄朝鮮の地に止まり或は現在の職業に勵み或は個人經營の農園に鍬耨を採る等其他職業の何たるを問はず一致團結して艱難と闘ひ家運の恢復を見ざれば止まざるの決心健實也とす彼等の狀況以上の如く之に對して本府の採りたる措置も茲に一段落を告げたるを機とし綱概を記し高覽に供す（以上）

▲平壤通信（七日）

▲平南線改修工事　去る十月十六日を以て開通したる平南線工事は速成に係るを以て橋梁の如きは假橋に成り居り且線路の如きも強いて迂曲せるものありて不完全を免れざるものなるが右に就き鐵道建設事務所にては明年度に於て更に全線路の改修工事を施す筈にて右の橋梁の改築及線路の改修を圖る筈なるが右は橋梁を除くの外は些々たる一部分の工事なれば無論明年中に竣工すべしと云ふ

▲煉炭場工程　當地寺洞に於て新築中の平壤鑛業所煉炭工場の工事近況を聞くに目下既に建築に對する鐵骨の組立を了したるが本年中は只建築に關する萬般の準備を爲すに止め明年解氷期を待て之が基礎及建築工事を開始する筈なりと云ふ

▲炭鑛の水道工事　當地寺洞に於て敷設中の鑛業所炭鑛用水道給水工事は其後以外に進捗し貯水濾過沈澱配水池其他の設備を始め昨今既に殆ど全部竣工したるが目下器械の据付中にして之が据付を了するに約一ヶ月を要すべく右にして終了の上は來春早々より給水するを得べき由なるが同水道に於ける貯水池の貯水量は深さ十尺池幅は二十尺より三十尺になると云ふ

▲慈惠院患者增加　平壤慈惠醫院にては昨今外來患者日に百五六十名に達し內朝鮮人八分通りを占め且つ入院希望者も少からざるが目下の收容力は六十名を限度とするを以て病室の狹隘を感じつゝあり藥價診察料入院料共に全然施療なる仁政の趣旨にして普く知れ渡るに至らば患者は益々增加すべく普通患者の尤も多き來春四五月の候にもならば五六百名を算すべき豫定にして同院にては此の準備として診察病室室其他の增築を企畫し既に其筋へ內申する所ありしと、

▲鑛業所小學校　平壤鑛業所炭鑛所在地寺洞方面には目下約三百名の內地人の居住するものあるのみならず近く鑛業所廳舍も同地へ移轉する事となりたるに就ては必要上今回同地に小學校を設立する事となり近日の內愈起工する筈なるが明年四月中には竣工校舍を開始する筈なりと云ふ

和歌募集

勅題「寒月照梅花」　選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十四年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮つて投詠せられんことを希ふ

十二月二日　本社編輯局

◎新刊紹介

▲國民雜誌　第一卷第一號十二月一日發行主筆は山路愛山氏東京神田駿河臺の同社にて毎月一回發行一部十五錢

▲富の日本　十二月一日第十一號出づ東京市芝白金三光町四六二同社にて毎月一回發行定價一部十二錢郵稅一錢

▲滿韓之實業　第六十號出づ記事頗る豐富滿韓實業に志すもの〻好參考たり釜山琴平町滿韓實業協會發行

▲韓國中央農會報　第四卷第八號出づ大和町二丁目同會毎月一回發行

▲函館圖書館　第一年報出版

山中鹿之助
第卅二回　西尾麟慶演

鹿之助は料理屋を立出まして表へ出まするを人が跡を尾て歩て仕方がありません、ソヲれ天狗さんが出た、れ天狗が若衆になつて御座つた、天狗が鞍馬山から遊びに來たんだ、杯と云て跡から尾て參ります、早くも此の事が宿へ知れて居りました、旅宿の主人は眞蒼になりまして、家內中に聞せ先づ出迎を致し、早く座敷を掃除致せ、れ天狗樣がれ出になつたのだ、不淨の物を置ては相成らんと指圖を致して居ります頓て鹿之助は　鹿「是れ〳〵御亭主其樣戲れを致しては叶んと座敷へ通りますと、亭主が夫へ參りまして　亭「エ、どうも旦那樣只今まではれ疎相を致して誠に相濟ません、何うかれ山に御座る時の樣にれ樂にれ願ひ申しますと、是より亭主は勝手へ參りまして、三寶へ高盛を拵へて伏面を掛まして上下を着け、目八分に之を捧て參ります、頓て其處へ押し直しまして拍手を拍まして　亭「長い事御無沙汰を致しました、モウ女房が病氣の時に願掛を致しまして癒ると幟と額を上まする約束でありましたが、種々モウ不幸が重りまして、何うも今に幟と額を上ませんで定めしれ腹立も御座ひませう、彼の野郎憎ひ奴だ若衆に化て家內の者を引裂てやらうなんとソナイな腹立ではエライ困ります、何うぞ御勘辨願ひます、其代り今日までの宿料は一文も戴きません、誠に失禮を致しました、御勘辨を願ひますと、云つて家內中の騷ぎとなりました、鹿之助は呆れて了ひ　鹿「是れ〳〵亭主、そんな事を云つては困る我は決して其樣なものではないから……實は酒に醉ては居るし、三躬の家來松永の家來等を威ずに何うも尋常の事では叶んによつて天狗なりと云つたのだよと云はれて、宿屋の亭主は半信半疑でありました、借翌日になつて表へ出ると、又々御天狗若衆が出たと云つてワイ〳〵跡をついて歩くから仕方がない又彼の料理屋の前へ來り、其家へ立寄りました、此處でも天狗とお得ましたから　〇「サアれ天狗さん御出になつた何か進たいものだ、早く此の三寶を拭け土器を洗ぎれ神酒徳利を持て來んかと云つて神前へ供へる樣なものを取揃へ、家內中が夫へ出まして柏手を拍て拜みまする樣な事になつた　鹿「是〳〵冗談しちやア叶ん　亭「へイ冗談どころぢやア御座ひません、何うかれ山に御座る樣に鼻を高くなさいまして、れ姿を拜ましてやつて下さいまし　鹿「ヤア決して左樣な譯ではないから安心をしてくれ、實は此方昨日酒に醉て天狗だと申したが決して左樣なものではないと云つて居ります、段々に其噂も無くなつてまゐります、茲に中御門中納言殿は鹿之助をれ召になりたく思召して居らせられる、又九重姫は日外や清水參詣の其歸るさに災難にかゝりて以來は御病氣と云ふので、典藥頭が御容態を診つて見ますると、折々熱のさしひきが御座ひますか、左れはと云つて何うも別に苦しみと云ふこともありません、何か物思ひの樣ふで御座ひます何か思召があつて其思ひを晴せば御病氣が御全快なさると云ふ譯であります是より乳母の皐月と云ふのが側にあつイ種々とれ尋ね申上るが何事も仰が御座ひません　乳「何かれ心になければなりません筈、左うれかくしになりましてはお爲になりません、何なりとも仰せられるやうに、御遠慮は御座ひません、と云はれまして漸くに姫君顏をあからめまして　九「日外清水からの歸るさに怖い目に遇たの……　皐「エ、左樣で御座います、彼の位ゐ恐しい思ひを致した事は御座ひません　九「其折危き處を助け下された彼……の山中鹿之助……と仰しやつたぎりで跡は差俯向て居ります　皐「ホンに左樣で御座ひます、彼の鹿之助殿が居なかつたなら何う云ふ事にならうも知れません、夫からいかが遊ばしました　九「アノ……者にア……　跡は畳への字をれ書き遊ばして夫ぎりれ言葉は御座ひません……

(續)外人の視たる半島(三)

KOREAN PENINSULA AS VIEWED BY A FOREIGNER.

一外人記述

▲兎にも角にも寺內將軍は併合を了へて半島の政治問題に一段落を附けた、時世後れのポリチシアン共が片言マザりの政論を以てアンチキセエションの評をヤッタところがモハヤダメだ、併し併合に關する世評などを構附ける必要がないだけ夫れだけ併合斷行者の責任は其後始末に就いて一層重且つ大を致した、人若し寺內總督の責任を問はんと欲せば开は併合に關する細々たる雜事に就いて云ふ事なく、實に半島開發の大事業に就いて爭ふべしだ。

▲總督政治、何を云ふにも今日の處はアンチキセエションに因つて只だ地ならしが出來た許りだ、ローマが一日で出來ず、日光廟の造營にさへ五十年を要せしとすれば總督政治の建築にも餘程の日子を要する、僅か百日ソコソコを經過し、まだ海の物とも山の物とも判らぬ寺內將軍の政治を武斷とか消極とか評するのは少し早計で記者の本意でない。

▲某國領事珍しソウに余に告げて曰く南山の元統監府廳舍今や建增しを加へて總督府廳舍となると、アー總督府廳舍、其建て增しは四分板とペンキとで出來た、併し此種の早業は永遠的なる總督政治の建築には向かぬ。

▲記者は總督政治に付いては氣永の見物人だ、が故に幕の明いた許りの今日碌々たる揚足はとらぬ、併し總督としての寺內將軍がアーピングたり、團十郎たることは記者の望むところだ、故を以て記者は將軍に向かつて多くの注文を呈する、若しも將軍にして快く記者の注文を納れんか他日アーピングたり團十郎たることは決して疑なしだ

▲半島開發の大業、斯を成就するに付ては多くの歲月を要する、彼のケシップの如き臺灣ですら十數年を要した、而らば半島開發に要する歲月は五十年か、嗚呼半世紀、寺內將軍如何に長命なりともヨモ其時まで生きまい、而らば其任命中に大業を完成せねばならぬ

▲過去に於ける消極的政策及び併合に於いて寺內將軍が成効したことは日本人諸君か何と云はふと我等外人間に於ては異論の無い事だ、併し、併し、繰返して言ふか前記の成効はモハヤ濟んで仕舞つて御馳走の話だ、將軍たる者今後我等外人を滿足せしめんとせば須らく新御馳走を振舞ふべしだ。

▲アー新御馳走开は取りも直さず半島の開發を意味するのだ、將軍果して此開發の大業を成就し得るや否。

東京電報(九日)

▲御親裁の御答翰

本邦駐剳特命英國全權大使マクドナルド氏は曩に同國皇帝陛下崩御并に新皇帝御即位の通牒せると共に新皇帝の現任狀を捧呈せるに付き天皇陛下には之れに對し御答翰を御發送相成りたるやに漏れ承はる

▲閑院宮御陪食

天皇陛下には明十日午餐に來十二日軍艦滿洲にて沖繩縣下赤十字社支部總會に臺臨せらるべき閑院宮載仁親王殿下及び東上中の大島關東都督、上田近衞師團長等を召され御陪食仰付らるる由承はる

▲皇室豫算會議委員

明治四十四年度皇室豫算會議は來二十四五兩日開會せらるべく委員長以下左の如く任命されたり

帝室豫算會議委員長仰付らる 宮內次官 河村金五郎
皇后宮大夫 香川敬三
帝室會計審查局長官 齋藤桃太郎
調度頭 長崎省吾
內匠頭工學博士 片山東熊
帝室林野管理局長 佐々木陽太郎
內藏頭秘書官 吉田醇一
帝室豫算會議委員仰付(各通)

▲伏見若宮の御乘艦

伏見若宮博恭王殿下には八日品川驛より橫須賀軍港に成らせられ軍艦朝日に御乘組御職務に就かせらる

▲竹田宮の披露宴

竹田宮殿下には明十日在京の陸軍各將官及び陸軍大學校教官を高輪御殿に招待して陸軍大學校卒業の御披露宴を張らせらる

▲政友會と歳入額

政府の歲計豫算中歲入見積額は四十年前故曾禰子爵相たる時代迄は過大に見積るの例なりしが時の決算委員長元田氏其不當を鳴らしたる以來は年々內輪に見積るの例なりしが明年度豫算に於ては未だ具体的計數を得る能はざるも關稅收入の不確實及び水害による減少あるに拘はらず是れを尨大に見積りつゝあらば議會の問題としては歲出よりも歲入に向つて精查すべしと政友會の幹部連は語れり

▲關稅改正の交渉

對英關稅問題は目下英國政界の動搖中とて中止となり居るが此際獨逸との間に交渉開始され既に豫備交渉準備なりたるも未だ正式の交渉に至らず其他佛、墺、伊、露等に對しては本年內に開始する運に至らずと

▲鐵道院豫算查定

鐵道院は廢軌改築の新計劃ありたる爲め豫算の決定に時日を要したるも最早や終了したれば來十四日頃各部管理局長を召集して更に查定をなすべしと

▲機關少尉候補生の練習艦

海軍機關少尉候補生を乘せたる練習艦津輕は昨八日午後零時三十分橫須賀軍港拔錨齋藤海相伊集院軍令部長坂本敎育本部長其他官民親戚知人の盛なる見送の裡に遠洋航海の途に就けり

▲練習艦隊の消息

海軍少尉候補生乘組の淺間、笠置兩艦は先頃來北米サンペドロに投錨中なりしが昨八日マザニロに向け拔錨せり

▲帝國農會へ交附金

農商務省は農會法により帝國農會に對し本年度下附金二千九百九十圓を下附する旨指令したりと

▲伏見宮と英協會

英國協會にては伏見宮貞愛親王殿下を同協會總裁に推薦したき旨請願したるに付き同殿下には勅許を經て御承諾相成りたりと

▲富士瓦斯紡配當

富士瓦斯紡績株式會社本年下半期決算は重役會に於て年六朱の配當案を決議したるが同社は今後印度方面に大發展を試むる筈にて既に其端緒として十五萬圓を投じ程ケ谷工場に於て新に輸出絹糸紡績五千錘を据附る事に決したりと

▲大整理後の日糖

大日本製糖株式會社は前年大整理後着々好成績を收め昨年より損失金を償却し殘部七十萬圓は本年下半期の純益金九十萬圓より支拂ひて十六萬圓の定期預金を爲すに至れりと

▲中央倶樂部幹部會

中央倶樂部に於ては昨八日午後幹部會を開き廿七議會に對する政算及び代議士總會の開會日並に宣言書發表等に就き協議したり

雜報

會計年度の改正

地方費會計年度の改正は八日の官報を以て公布されたるが其內容に付て聞くに從來韓國政府が準據したる地方會計年度は毎年其年の一月より十二月迄として凡べて支拂其他の決算は十二月限り其年度間に計上することゝなり併合後官制の改革當府も此の會計年度に關しては何等通達する處なかりしが今回從來韓國政府の習慣たりし年度を改めて日本政府の會計年度に據ることゝし即ち四月一日より翌年の三月三十一日迄を一年度とすることに改正せられたり

清國公使の入城

駐日清國公使王大燮氏は通譯官一名を從へ併合後の狀況視察の爲め來城せらるゝ由は既報の如くなるが十日午後八時十分南大門着列車にて入京すべしと

鯖漁會社の計劃

朝鮮各地沿岸に於ける鯖の饒多にして品質の良好なるは多く其比を見ざる處なるが目下內地鳥取縣附近に於て漁獲さるゝ鯖漁は之れを鹽漬として盛んに米國に輸出されつゝあるが其價格は非常の好望を示し百斤袋一個に付金四圓六十錢宛の純益を得つゝあり然るに之れを朝鮮に於て經營する時は非常の低廉なる價格を以て供給し得べきは勿論內地以上の純益を擧け得べきにより目下有志者相計り之れを朝鮮に於て製造經營せんとて各地に調査を爲しつゝある由にして愈々其有望なるを確かめたるを以て東京の資本家及び京城釜山の漁業家相計り大資本を投じて朝鮮鯖製造株式會社なるものを設立し本社を釜山に出張所支社を巨濟島、蔚山及び其他樞要の地區に置くの計畫なりといふ

貴族の家政整理

朝鮮に於ては兩班又は富豪の家に多數の食客を置くこと古來の習慣にして李完用伯の如き現に百餘名の食客を養ひ居り其他今回授爵せられたる人々の各家には少なくも二十名以上の人を養ひつゝあるが古來の習慣なれば致し方なしとするも將來永遠に此風を持續するときは如何に巨萬の富を擁するも繼ゆべきにあらざれば貴族中には恩賜金を以て何なりと授產せしむることに致したるも差當り適當なる事業も見付からざるを以て寧ろ此際涙金を與へ暇を取することに申合せをなし目下其整理中なりと

東拓社債の認可

東洋拓殖會社が曩に日本興業銀行より借入れの約束を爲したる社債百五十萬圓は認可申請中のところ八日付にて愈々總督府より認可されたり

●在滿朝鮮人大調査

曩に滿洲官憲より撤退を命せられたる居留地外在住朝鮮人損害賠償及び錦州に於ける朝鮮人立退問題は收穫後無事引上げたるが故一と先解決したること別項記載の如くなるが外務省にては滿洲に於ける一般朝鮮人此後の保護に關しては治外法權所有者として取扱はざる可からざるを以て滿殺來間島副領事其他を派遣し滿洲全体に渉り大調査を開始したるが其の完了を待つて居留地外住民等に關する根本的交渉を淸國政府と開始する筈なりと

●朝鮮人の立退問題

新民府附近の未開放地居住朝鮮人立退問題は曩に奉天總督より土地開墾費及び收穫費として金三千元を與へて強制的に立退せしめられたるに對し我れより更に數千元の賠償を要求し附來交渉中なりしが此程漸く淸國側より四千元を支拂ふことゝなりて落着せり尚金州附近居住鮮人は既に本年の收穫を終り且地主は今後の經濟上農作を見合すべき模樣あるを以て此方面に限り賠償を要せざるべしと云ふ

●朝鮮人の間島移住

近來北鮮各地の朝鮮人續々間島に移住しつゝあるは屢々報道したる處なるが尚ほ聞く處によれば右は主として北鮮の寒き處より間島は遙かに生活の容易なるに因るものにして間島に於ける或る一部に限りては一時的移住者あれど他は概して永住的性質のものなりと

家屋税と民團側

京城民團にては兩三日前より來年度豫算の下調べに着手せるが民團理事者側の意見を聞くに來年度に於て學校の增設其他必要の新事業を起すに於ては本年度に比し幾分經費は膨脹すべきが其財源に就ては或は舊龍山の現制に倣ひ家屋税を新たに課すべしと云ふ者あるも理事者側の意見としては增税する考へはなく從ふて家屋税の如きは新に課することなく舊龍山側の家屋税も廢止するは勿論にして新事業に要する經費は可成民團債を起して支辨するに至るべしと

民團伺書と指令

過日古城民長が民團問題に付二三の伺書を宇佐美內務部長官に差出したるは既報の通りなるが同伺書は府廳より去十五日道廳に廻附し道廳にては即日意見を添附し內務部に廻送したるが既に取調濟みとなりたれば地方巡視中の宇佐美長官は來十二日頃歸府の筈なるを以て遲くとも來十五日頃には指令の運びに到るべしと云ふ

●鴨綠江の氷上運搬

鴨綠江は八日より九日午前に至る間に全く結氷し鐵道に於ては八日運行試驗を行ひ愈九日より氷上運搬を開始する事としたりしも結氷當初なるが故滿足場惡しく當分荷物の遲延すべしと

南滿各地の豆作

本年南滿各地の大豆作は昨年よりも遙に良く平均七八分作と唱ふ此の平均は各地方の最豊作を標準としたるもの故普通の計算にては平作と云ふべき成績なるも未だ輸出盛とならず昨年十一月の大連出廻り七萬六十餘噸なりしに本年に五万三千噸に過ぎず而も愈盛とならは昨年以上の活況を呈せん五日の豆

相場百斤三圓三十五錢(寄附)三十九錢(引け)

●大同江上流の結氷

本年の寒氣にては本月十日頃までには大同江上流の結水する事なく鎭南浦平壤間の航行は同時期まで自由なるべしと豫想され居たるが寒氣急激にして七日より大同江上流全く結氷し平壤附近の流氷一層甚だしく而して平壤より鎭南浦へ向け航行中の解船八隻は流氷と共に江上に漂ひ同港へ着けず內三隻は目下行衞不明のものありと斯かる有樣なるを以て平壤鎭南浦間の航行は八日を以て全く杜絕したり尚ほ之れを昨年に比すれば約一週間遲延したりと云ふ

●繩叺類の便宜通關

從來荷造用繩叺類輸入の際は釜山港稅關上屋狹隘なる爲め是等の貨物は概ね屋外に置きありしかば偶々降雨等の際は貨主の被る損害少なからざるより其の引取を迅速ならしむる方法として同稅關にては貨主の便宜を圖り貨物の檢查後直に檢查課に於て其の引取免狀を交附し稅務課の徵稅審查は爾後之を行ふ事に改められたり

欝陵島の最近狀

近く欝陵島を視察歸來せし某氏の談に曰く同島は釜山より海上百八十浬なれども雲州松江と帆船の交通あるのみ碇泊すべき好錨地なき一離嶋にて目下日本人八百朝鮮人四千人內外ありて到る處大豆の植付あり日本人は收穫前より一升二錢位にて買取り之を內地に輸入す島內は貨幣殆んど用をなさず物品の交換にて下男の給料一ケ月大豆幾何といふ有樣なり戰役前は露國人の手に盛んに森林の材木を採伐したることとて海岸には今尚其殺風景なる跡を止め居れるが奧深く立入れば未だ斧を入れざる森林多し風俗は至つて溫良にて酌婦など云ふべきものの影を止めず四千の鮮人は大日本國民となれりとて頗る得意の色あり頃日同島沖合に於て日本海々戰中三十八年五月二十九日我艦隊に擊沈されたる露國巡洋艦ドミトリドンスコイ(六千二百噸)の沈沒せる個所を發見し目下引揚工事中にて艦內より貴重なる物品を引揚居れり云々

●黃州輸送界の革命

京義線黃州驛と同市街とは尠なからざる距離を有するより從來市街地方面より同驛に到るべき一般貨物の輸送に頗る不便なるものありたるのみならず之が輸送の方法としては其間船便に依りて黃州川を上下したるより爲に輸貨金重は一噸に付六十五錢を要したり斯ては貨物輸送上に不便利なるは固より同地方面の發展上にも支障を與ふる次第なるを以て鐵道事務所にては今回同鐵道に於て使用しつゝある砂利採收船を以て右の貨物運送を兼用せしむる事とし同時に之を黃州驛に近接したる場所迄到着せしむる事としたれば爲に從來に比し輸送時間と勞力を著しく減じたるのみならず同時に之が費用の如きも一噸僅に十五錢にて運送するを得る事になりたれば旁同地方面に於ける一般貨物の輸送狀態は茲に一變すると共に之が到着地に於ける價格の上にも良好なる變化を生じ一方ならざる便益を得るに至りたりと云ふ

●高女の落成式順序

既記の如く民團立南山町の高等女學校落成式は明十日午後一時より同校舍に於て擧行の筈なるが其順序は△着席△敬禮△民長開式辭△君が代一同起立△勅語奉讀(一同最敬禮)△勅語(一同起立)△建築報告△民長式辭△治る御代(職員生徒起立)△來賓祝辭△學校長答辭△生徒總代祝辭△新築落成式の歌(職員生徒起立)△民長閉式の辭△敬禮△退席等にして其他は既報の通りなり尚ほ當日建築報告者蜂尾助役都合ありて西鄕建築主任代つて之に當るよし

●新年の名刺交換會

例年の如く在京城有志の新年名刺交換會は有吉長官市原韓銀總裁古城民團長外二十七氏の各官衙銀行會社の代表者を發起人として一般有志の加入を歡迎し開催する由會費は五十錢日時は元旦正午場所は新築高等女學舍內と假定せられたりと

●佛國總領事の陞任

在京城佛國總領事館は領事官に變更せられ芝罘駐在同國領事ゲラン氏は總領事ベラン氏に代り新に京城駐在を命ぜられ在京城同國副領事兼通譯官は爾今之を廢止し尚ほベラン氏は把拉圭駐剳辨理公使に任せられたる旨同國大使より去月二十三日付を以て通知ありたり

韓國銀行券發行高

十月下旬より京城金融界は俄然多忙を極めつゝあるは既報の如くなるが引續き十一月も米穀類の出廻はり激增したるを以て一層活潑なる狀況を呈したり隨て韓國銀行に於ける銀行券發行高も日に月に增加の姿にあり尚ほ十一月三十日同行に於て發行したる銀行券は實に一千八百八十四萬二千九百圓の多きに達したりと云ふ

●內務部長旅程變更

目下巡視中の宇佐美內務部長官は十日鎭南浦に向ふ筈なりしが本日電報に依れば八日夜豫定の如く平壤着九日及び十日の二日間平壤滯在同地を視察し十一日鎭南浦に向ふことゝなり關屋學務局長も長官と同道する筈なるが長官の歸任は豫定より一兩日延期すべしと

●兩少將退龍歸任

軍司令官へ交代申告の爲め來龍中なりし石田、渡邊兩少將は九日午前九時南大門發列車にて大邱へ向け歸任せられたり

●芥川釜日の歸釜

芥川釜山日報社長は滯京中の處九日朝歸釜したり

▲京城手形交換高▼

十二月	金高	枚數
九日	三四四、四二五	二八 四一〇

▲治外法權▼

此間後藤新平が山口の高等學校でした演說は平凡を以て特色とする大臣演說としては一寸面白く聽かれたものだ、尤も後藤の背後には新渡戶博士が控へて居る、ダカラ今度の演說も新渡戶の意見が後藤の口から出たのかも知れぬ▲ソレはドウでも良いとして其演說の趣旨はコウ[illegible]、曰く、まづ順序上吾人は今後奮勵して日本をして世界の日本と爲さねばならぬ、夫れが濟んだら其次は世界をして日本の世界となさねばならぬと、アー苟くも生を現代の帝國に享けたる我も人も此の覺悟で行かねばならぬ▲以上は日本と世界との交涉だが、之れを總督府と半島との交涉に持つて行けばドウだ▲總督府のあるのは半島の被治者の爲めだ爾り切實に云へば在半島の被治者の爲めだ、總督府にして成功せんとせばまつ順序上第一着に總督府が自ら進んで被治者の總督府とならねばならぬ、此時代が過ぎて其後に於ては總督府は被治者を擧げて總督府の手足とせねばならぬ、此呼吸が呑込めたら半島財政の獨立など蓋しヤサシイ事だ▲時事新報の時事小言子が總督府の移轉と移民局の設置とに付いて希望を述べた、記者の希望も同じ事だ、でドウカ現實にさしたい▲統監府若しくは總督府を景福宮に移すのは記者の素論で、斯は百利あつて一害の無い事だ、ソウして各部をミンナ光化門通へ集めてシマへは便利此上なしだ、今の樣に役所がアチコチに飛んであるのは政務事務統一上に不便だ、ソウして冗費を多く要する事だ▲移民局の新設、斯は獨立の役所となすか或は農商工部の所屬となすか、イヤ所屬なんざはドウでも良い、要は早く作るにありだ▲大砲專門クルップ會社の配當は八分だつたが今年は一割だソウだ、之ジャ世界の平和は覺束かない▲地球上の馬の總數は一億だソウだが朝鮮には幾匹居るか、馬に似たる野獸は多い樣だがホンドの馬としては極めて鮮ない樣だ、產業開發と馬匹の改良斯は大に考へねばならぬ▲馬と云へば此頃或方面に道路取締上牛車の積載量を制限するとの內議があるソウだがコリヤ是非とも實行して貰いたいものだ。

▲相場電報(九日)

(明治町西村支店着電)

▲神戶寄 三八、二〇 (前場)
▲電報引 三八、二〇 (後場)

▲京坂同 五九、八〇
▲電鐵同 五九、六〇
▲鐘淵同 一〇四、四〇
▲[illegible]同 一〇四、二〇
▲[illegible]同 九八、二〇
▲東京同 一三五、〇〇
▲株新同 一三四、七〇
(着)(延)
▲大坂同 一四三、〇〇
▲株式同 一四二、九〇
▲銅直同 一四二、〇〇

▲東京期米▼
▲前場 十二月十五圓三錢▲一月寄九十錢▲二月寄三十五錢

▲大阪期米▼
▲前場 十二月寄十四圓五十二錢▲一月寄五十五錢▲二月寄八十六錢

▲仁川米豆取引▼
▲前場 十二月寄出來不申▲一月寄九月五十八錢止五十八錢▲二月寄六十錢▲最高六十一錢▲最低五十九錢▲止六十一錢
([illegible])

●日用便覽の頒布

朝鮮總督府觀測所に於ては前年の例に倣ひ明年度日用便覽を出版し一部郵稅共二十七錢郵券代用一割增を前納すれば需用者へ[illegible]希望者は此の際至急京城測候所(電話八六七)に申込めば直に發送さる但し出版期日は十二月廿五日頃なり

公人私人

▲[illegible]水原より入京[illegible]投宿
▲山中鉄一郎(原州區裁判所判事)同上
▲清水源(春川區裁判所判事)八日春川より入京浦尾旅館へ投宿
▲宇野美苗(總督府判事)同上
▲ダリランジ[illegible]
[illegible]より山本旅館へ投宿

▲相場電報（九日）

▲大阪株式（二月限）前場　（後場）
神戸　寄　三八〇〇　引　三八二〇〇

▲京取同　五九八〇〇
▲電鐵同　五九六〇〇
▲[illegible]同　一〇四二〇〇
▲[illegible]同　一〇四〇〇
▲日本郵船　九八二〇〇
▲東京同　三五〇〇
▲株新同　一三四七〇〇
（着）

▲大阪同　一四三〇〇
▲株式同　一四二九〇〇
▲價値同　一四一〇〇
▲取引同　一四一二〇〇

▲東京期米▼
▲前場　十二月十五圓三錢▲一月寄九

▲大阪期米▼
十錢▲一二月寄三十五錢
▲前場　十二月寄十四圓五十二錢▲一月寄五十五錢▲二月寄八十六錢▲二

▲仁川米豆取引▼
▲前場　十二月寄出來不申▲一月寄九月五十八錢止五十八錢▲二月寄六十錢▲最高六十一錢▲最低五十九錢▲止六十一錢（後場延着）

●日用便覽の頒布　朝鮮總督府觀測所に於ては前年の例に倣ひ明年度日用便覽を出版し一部郵税共二十七錢（郵券代用一割增）を前納すれば需用者に[illegible]發行部數に制限あれば希望者は此の際至急京城測候所（電話八六七）に申込めば直に發送すべし但し出版期日は十二月廿五日頃なり

▲[illegible]公私人[illegible]
▲宇野美苗（總督府判事）同上[illegible]川より入京浦尾旅館へ投宿
▲[illegible]水原より入京京城ホテル投宿
▲山中緑一郎（原州區裁判所判事）同上
▲清水源（春川區裁判所判事）八日春川より[illegible]
▲神[illegible]美苗（[illegible]判事）八日[illegible]より山本旅館へ投宿

人の好い自轉車屋

▽色男は他にあるのよ

元二葉亭の淫賣上西園子の後段を紹介する、園子は巡査某に身受けさるゝ事に定るや長谷川町の自轉車屋の主人福岡とやらを詐いて神戸から父親を呼び下した其の口實は斯うである、〇〇には金を出させる丈けで夫れが濟んだら貴郎の所へ參ります夫れに就いては結婚式を舉げるのに父親の立會がないと云ふことはない、夫婦になれば妾のれ父さんは貴郎のれ父さんぢやなくつて、呼んで頂戴よう、と斯うである、但し父親は神戸の税關の一小吏である、事此所に至る福岡たるもの喜び且つ勇まざるを得ない、奮發せざる可らずとあつて仰せに從つて「ウム左樣だ夫れ前の親父は俺の親父、俺の親父は俺の親父だ、違ねねねの眞中で貍がポン〳〵腹鼓ッコリヤ唄ふ文句を聞イけばねツリヤ、芽出度い〳〵れ芽出度千年萬年れ芽出度いコリヤッコリヤッコラサ」だ芽出度い〳〵どれ芽出度くれ成んなすつてれ手前ものゝ自轉車を乘り回して奮發に及んだ甲斐があつて父親殿着城に及んだ、及んだ當日は福岡君自分の宅にある一等上等の自轉車に乘つて店員一名を引き具し馬鹿に偉ひ面を提げて南大門驛に出張に及び店員を指揮して荷物等の世話にも及ひ九州旅館に宿泊せしむる等百方盡力に及んだのみか茲に居ては金錢がかゝると云ふので旭町の去る所、河野さんとかの持ち家への温突に移らせ日本語の分る韓童まで附けて費用一切自分持ちと云ふ奇特な舉動、感心の膝をポンと打つた親父、アーナツ娘の目の高い、テモよい聟殿ぢやナアで現金に感心して居る內例の巡査殿の方は甘く放逐したから約束通り園子は廢業に及んで雲隱れ福岡の方に來べき筈を廢業はしたが來ない、元來福岡とて何も親父に感心される爲めに盡力して居るのでは毛頭ないので全くの所は親父なぞは感心して呉れても感心して呉れないでも園子さへ來て呉れゝば夫れで宜いので親父を感心させる原因なるものは即ち此所にある、然らに親父はマンマと感心させたが園子は來ない二葉亭にも居ないと斯う云ふ譯ぢやないのだから猛烈に自轉車を蹴走らしたて捜索に及ぶ、此の聟殿の活動を目擊に及んでは親父殿ヂッとしては居られない此れも同じく血眼で探し回つたが判らないで落膽して居る所へヒョツコリ戻つて來た園子は行つてた所は云ひもせず子宮內膜炎だから入院しなきやア成らないのよ、と工藤婦人科病院に入院に及んだ、福岡聊かムッと爲ない譯でもないが怒る丈けの勇氣もなく退院するのは樂しみにして感心な聟殿として忠勤を勵んで御座るが豈に圖らんや園子は退院したら南山町の福井〇〇なるチョコマン鑛山師の處へ落着くことに量見を定めて居るのだ現に福岡と親父が探し回つた當時も其處に隱れて散々巫山戲た結果が先頃本紙へ寄せた「妾の記事に就て一言す」は福井に文案して貰つたのだと聞いたら福岡君腹が立つたんべヱ

鹿の子の大失策

▽弗旦を取り逃しての自暴

新町浦月樓の鹿之子女郎と云へば蟹の道ふて來る横濱の私立群妾學校手管專科の卒業生程ありてナショル位は申すに及ばす四十八手の裏表も何の其のと云ふ聞くも恐しき凄腕女郎なる事は識親類筋の能く御承知の筈なるが此の奴の色香に迷ふて通ふ自惚男も數多き中にも南山邊に住む銀筋殿の某の如きは三歲になる愛兒の事も打ち忘れ只管鹿の子の御機嫌を損じてはどれ部屋の裝飾品から茶碗、箸に到る迄での御用達を爲し居れは鹿の子さて下へも置かぬ扱ひ振りに某の恐悦斜ならず之れと見た鹿の子は此の機逃すべからずと優しい例の猫撫で口調で若し貴殿妾稱みたい事があるわどれ定まりの御無心を持ち掛けたるに夫れ〳〵れ前の方から云はれる迄もなく己の方でも考へて居つた事だと案外甘ひた言葉にデハ此の十日迄にと堅く約して此の寒む空を物ともせず別を惜みて南山の巢にと歸りたるは過る四日日曜日の朝なりけりさて其後六日の夜も例によりて登樓したるに以前に增しての御愛嬌に某の御機嫌は益々旺にしかつた迄はよかつたがツイ何氣なく火鉢の引出しも開けたるに計らずも明治町の或る情夫から來た手紙の末文に縱令此の後どをなる共約束通り夫婦になるから安心して居らうとあるを見たる銀筋某忽ち猿の如き顏色にて怒り甚だしければ仲居の面々交る〳〵平身低頭して謹んで詫び申上ろもれ聞き入れの模樣なきより之れが回復に種々運動中なるが此の不景氣に折角捕獲した旦那樣を怒らしては何かの當ては扨て置き質の利上げも出來ないわと流石の鹿の子も落膽してモオ斯ふなれば仕方が無い衣裳は借り着ジャ年期は增しジャと大和炉燵の上で朝鮮蜜柑の丸喰いとは今後の成り行き如何になるかと廓雀の專ら評判

町通りの如き狹き街路に於て下水道より突出するものは絕對に禁止する方針

町通りの如き狹き街路に於ては交通上支障あるを以て南部署管內街路の兩側下水道より突出するものは絕對に禁止する方針なりと

大赦囚の犯罪數

△既に七名に達せり

併合後朝鮮に於ける舊刑諸般の罪囚中其の犯罪の性質により特に憫諒すべき者一千餘名に對し大赦の恩典を與へられたる彼等の多くは由來地方官及篤志者の奔走により過半正業を得て一意衣食の道を講じ居る有樣なるが中には該恩典の意を諒せず再び犯罪を敢行するものあるより當局も之れが防止に鋭意盡力しつゝあるが昨八日迄で各地より司法部に到着したる報告によれば大赦の恩典に浴せるもの內より既に七名の再犯者ありと

朝鮮海峽飛行横斷

▽冒險家丹羽氏の壯舉
▽三時間にて横斷豫定

青年冒險家たる丹羽五郎氏は我國飛行界の遲々振はざるを慨し來春早々飛行機を以て朝鮮海峽を横斷し我國飛行界に新レコードを作らんとする快舉を思ひ立ち目下其準備中の由なることは去る二十七日東京電報欄記載の如くなるが同氏は商船學校の卒業生にて同校卒業後は軍司大尉の奉効義會に入り或は密獵船に乘込み或は三十餘噸の帆船にて北極探險に向ひ前後一年間極地にありて氷山白熊と戰ひ又去る四十一年の東京灣快走艇横斷競走に參加して滿都の耳目を聳動したる事等ありて半生の大部分は殆ど探險冒險的生活を以て埋められ居る人なるが昨今飛行機熱の流行に伴ひ多年怒濤激浪の間に得たる船舶運航術に關する智識を應用し專ら飛行航空に關する研究を重ね殊に我が國にては未だ完全なる飛行機の發明せられたるものなく從つて何れの飛行機に依りて目的を達すべきかは氏の最も苦心せる處なりしが種々研究の結果結局府下大崎町なる森下飛行機研究所森下辰之助氏の發明に係り目下特許出願中の水陸兩用飛行機を選むことゝし右の飛行機の完成を待ちて來春早々飛行を實行する事に決し目下事務所を森下飛行機研究所內に置き取急ぎ諸般の準備中なり而して同氏は飽迄成功を確信し居る由にて馬關釜山間百二十三哩を一時間四十哩の速力にて僅々三時間にて達し得る豫定なりと云ふ尚該計畫發表の爲め神田錦輝館に於て來る十七八日頃一大演說會を開く筈なりと云ふ

●新年休養會の主催

本社は來春早々溫陽溫泉に於て新年休養會なるものを主催する計畫中なるが其の趣意は多數一所に會して而して費用を節して愉快に遊ぶと云ふにあるのである新年と云へば誰れしも休むことが多く會飲會食に夜を更すことの機會が多い從つて健康を害することが多い此れは折角の正月をダイなしにするものと云ふべきである然るに此の閑暇を利用して入浴しつゝ集團的に經濟的に衞生的に休養すると云ふのである此れは社交上にも又尠なからぬ利益あることゝなりと信ずる計畫の委細が追つて發表されたならば嘸度歡迎せらるゝであらふ

●歲末年始大賣出取締方針

歲末年始大賣出品附各商店大賣出に就ては從來の惡弊百出に鑑み其筋にては嚴重な監視取締を爲す事となり既に去廿日亥角保安課長が憲兵隊、警察に向ひ注意書を發したる旨昨紙報道せし所なるが大賣出に就ても特に弊害の多大なる彼の團體的賣出し則ち聯合組織に存する先づ此團體的賣出に付き一定の方針を以て監視取締るべく尚は個人的のモノに關しても近く取締方針を內定する筈なりと

門松取締の方針

△庇髮式は不許可

南部署の門松飾取締方針を聞くに歲末に際し各門戶に門松を樹立するは迎陽の佳例として毎年の慣習なるも本

電車停留場新設

▽實行期は未定なり

日韓瓦斯電氣株式會社は左の十箇處に電車停留場新設すべく去十月六日其筋へ出願中のところ去五日認可となれり停留場は鍾路古市町間にして夜間は目標の點燈をなす等にて其箇處は△鍾路停留場△天一銀行前△黃金町通△韓國銀行前△米倉町通△南大門內△南大門外△南大門驛前△吉野町角△古市町乘換場

●無給で人を使ふ

（八日）午後四時頃仁川花房町派出所へ一人の鮮人が保護願に來りたるを以て取調べたるに此者は京城南大門外居住金德才（三〇）と云ふ石工にて本月四日龍山旭町大工竹下定四郎（三〇）に日給六十錢の割にて雇はれ鐵道工事の爲め同日仁川へ來り竹下は松坂町二丁目下宿屋中山方に止宿し金は朝鮮宿屋に止宿し稼ぎ居たるに竹下は一昨日突然龍山へ歸りたるより金は宿料は勿論京城へ歸りたくも汽車賃はなし途方に暮れ願出たる事と判明し加說の上歸宿せしめたり

●行路病者の收容

京都府紀伊郡鳥羽村大字新田町四十八番戶堤幸次郎（三三）は數月前より病氣に罹り治療の資なく行路病人として民團に引渡せり

●珍稀延命草無代配布

該草は黃金草と同じく祝賀草の一にして千重大々輪なり花色は紅紫白等にて盆栽の根締又は單盆栽として最も高尚優美なり長野縣下高井郡延德村勸農園にては例年の通り五本を一組とし弘く分苗する由希望者は荷造送費十五錢送れば安全に送達すと云ふ

●小火

八日午後二時西部盤松坊尾洞百八統十戶金永泰方の屋根燒失せり

●判決

既報宮島又平は昨九日懲役一箇年に處せらる

▲平民文壇▼

▲懇願生に告ぐ今の朝鮮に寄附何かとそんな奇特な者はマア有るまいと思ふ君にして左程熱心なれば僕の知人で盛に慈善〇〇〇に關係したこともある月隱栗と呼ぶ人があるが此の人は性磊落術も初段以上で又熱心家と聞く此人を訪ひ給へ僕が紹介の勞を執つてやるよ（新町二五の五深切生）▲仁川建築所長の盜賊的行爲なる投書は事實なるや否やは知らざるも都合あり沒とす（係）▲西小門通りの白人賣春家の一軒が九日の朝何處へか移轉すべくの物好きにも尋ねて見たから長谷川町一丁目へ移轉しますと答へた、荷物の內で特に見立つたのは疑臺と藥鑵であつた此れが……と思つたら可笑しい哀れさを感じた（通行人）▲明治町金光鐵工場の煙突も新しく大きくズット高くなつて隣のヨボも嘸ぞ安心したやらふイヤ僕等もだがマダ〳〵危險極まる火事の卵の煙突がマーニイッだ殊に寒風吹き荒む此頃ヨシ火の子は出なくても煤煙飛び散つて其處も此處もれまけに通行人の目や鼻まで黑くすることは不都合千萬だ何うか社會的公共心と云ふ六ヶ敷い處に訴へて是非相當に危險や不都合の無い樣にして頂き度いね—（水性の男）▲今日の寒さはと云つた處で致方も無いが手指は熊手見た樣に低い僕の鼻尖でも唐辛色目や鼻からは寒い涙や鼻汁が溢れる見つともなさア、早年も暮れなむとつゝあるマア何うして此の冬は過そうかと思へば涙が先きに立つがトコトッな〳〵どとは云はれぬわい（ウーン）

今日の運勢

●十二月十日舊十一月八日九●紫赤口己酉納△一白心に任かせぬ事多し大事新事は避くべし旅行金談婚談貸借效無し△二黑療病衞生に留意すべし其他一轉進の日改革轉易の事に吉△三碧紛爭衝突起り易し外誘懲願無心に遭ふの恐れあり△四綠旅行祝典談議見合せの事其他總じて快欣の日大凡進んで利あり△五黃創設開始着手及旅行出帆見合せたるべし他は平都の日△六白起業開店旅行共同組合連盟協約見合すべし建築金屬土木に吉△七赤諍渉證券の故障起り易し旅行移轉新事婚談進んで吉△八白相談熟議共同連盟婚談建築金屬の業務に吉他は進んで不利△九紫諸事謹愼の事旅行婚談賣買建築貸借相談訂約祝典尤も忌む

●天氣豫報

（自九日午後六時至十日午後六時）
北西の風晴れ

謹告　退社

小生儀今般家事の都合に依り退社仕候に就ては多年厚誼を賜はりし辱知諸君に對し拜趨御暇乞ひ仕るべく筈に候へども何分至急を要し其の儀に及兼ね候間乍略儀紙上を以て御詫旁々御告別申上候　敬具

十二月　柳江　森隆孝

廣告

第四十八號公告
一金三十八圓二十一錢也　當民團教育費へ
右ハ四十一年八月ヨリ四十二年十月ニ至ル間第一銀行京城支店內へ遺失シタル金員ニシテ遺失主無之爲メ其筋ヨリ還付セラレタルヲ以テ同支配人竹山純平殿ヨリ寄付相成候條此段公告ス
明治四十三年十二月九日
京城居留民團民長　古城菅堂

●諸公債諸株券 現物賣買

迅速確實に御取扱可申候

兼業 既製洋服御小賣 諸官衙御用達

京城本町三丁目

大坂野村德七代理店

田中友吉商店

電話九三九 略電署（タ）

瓦斯コークス販賣

京城南山町三丁目百十四番戸

酒井組

電話一二四九番

◉貸金 旭町二ノ一五 別府組車帳場筋向小路 高橋

有給者にて極秘密に低利融通可申候

質

本町一丁目裏通り 支那領事館筋

南商店

電話一〇九六番

國譽足袋

特約店 仁川本町 松尾

裁縫割烹教授所

規則書御入用之方は郵券二錢封入之事

京城大平町（神田組前）

野村さわ

（電話一四二〇番）

飲め今のめ 今のめ仁丹

懷中 仁丹 良藥

ジンタン JINTAN 인단

朝鮮總代理店 京城 新井藥房

飲料水井賣却廣告

一所在地 仁川花町二丁目

右井水は仁川に於て六ケ年間志民の飲料に供し酒、醬油、味噌、味甘水、ラムネ等の製造に適し純良なるは世人の認むる處なり今回都合により現場のまゝ賣却致し度候に付希望の方は下名へ御來談下され度候

仁川花町三丁目

木下吉助

人相骨相●歸納的推理の科學性情鋭鈍能否其他一相對絕對の全運命を豫斷す

易●萬世不易の大經也浴く人事の煩數を斷決す

京城本町五丁目

其理推斷館主 土御門派大陰陽師

三一館

移轉廣告

一弊店等日鮮合邦と京城府發展に伴ひ從來の場所にては不便利に付左記へ假新築移轉仕候間舊倍の御引立の程奉願上候且弊店等の店前には日本人朝鮮人支那人等共に多數開店卸小賣に係らず勉強營業致させ居候に付食料品は全部立所に取揃候間至極便利に有之候共に御引立願上候

京城南大門北米倉町

（カ）辻本嘉三郎商店 電話六四一番 本宅旭町一丁目 振替口座京城三八番

（丁）池尻林太郎商店 電話三五一番 電話一四七八番 振替口座八六番

仲買人一同

M.C.C.

土耳古卷紙

專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣

エムシーシー

京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

世帶道具は何でも有り升

外に宅ノ酩酒、手ヨリ白米、和洋ローソク、上白シメ油、㊕醬油ハ特約品

右品質上等直段下等大勉強販賣仕候間續々御用命奉願上候

日用雜貨御問屋

京城本町六丁目

西崎嘉七本店

電話二百十番 電略（ニカ）又ニ 振替貯金口座韓國七番

資本金五百萬圓

神戸海上運送火災保險株式會社

出張所 京城明治町一丁目（電話一五四九）

弊館には夜警の設備あり

陸軍指定旅館

鐵道院指定旅館

仁川水産組合指定旅館

第一各保險會社指定旅館

眺望の好き事仁川第一なり

御客樣の安全此の上なし

仁川海岸

旭屋旅館

電話二五一

新荷着廣告

米國スタンダード商會特約品

石油暖爐、空氣洋燈、火止石油

其他軍人用附屬品各種

歐風室内裝飾 家具製造販賣

京城本町三丁目

森安吉商店

電話四百三十番 振替貯金口座朝鮮一五〇番

諸金網製造販賣

鑛山用 製紙用 精米用 織綱一式 篩類一式 其他御好次第

右今般當店監獄作業部ニ於テ製造開始致候ニ付多少ニ不拘御用命仰付被下度候也

和洋金物商

京城本町五丁目

釘本藤次郎本店

長電話四五番 電信略號「ク」 振替貯金口座朝鮮二五六番

清正 政宗 正則 釀造元

上酒

小賣壹升に付二十錢 卸賣は特別割引可仕候

酒 味淋 燒酎 釀造元 並に日用食料品雜貨類

京城本町三丁目

中井酒造場販賣部

電話百七十七番

電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

歳末年始の御贈答品に付ては何卒一度御越の上大陳列場を御隨意御一覽被下度品揃と確實とは弊店の特色に御座候

御種々見切品も有之候

洋酒食料品 紙卷葉卷煙草 化粧品類 直輸入

京城大漢門側

エル、ロンドン商會

電話九九五番

○歐米商品は何品によらず薄口錢にて輸入御取扱仕候

新築開業御披露

京城本町一丁目裏通支那領事館前

毎日午前六時ヨリ朝湯開始 道水を使用

京城湯

義齒術全般

京城南山町二丁目（伊藤組南に入る）

小倉三郎

電話

統監府及諸官衙御用

荷物運搬 引越荷物受負

伊藤組

電話四〇番 本町三 電話七三二番 南大門驛 電話一九四八番 大和町 電話一六〇八番 同第二

石炭

唐津石炭各種 平壤無煙炭 三池粉炭 筑後炭各種 燒石炭 鍛冶屋用粉炭

並に

煉瓦製造廉價販賣

石灰 生石灰 フカシ灰 製造販賣

仁川支那町一丁目（運輸部横）

八田利三郎本店

電話六十二地

龍山元町一丁目

八田石炭部

八田利三郎支店

電話五五三番

季節向用品荷揃

一膳、椀、重箱、菓子器、卷莨入、各種並に東京火鉢、柳行李、鏡臺、其他家什具類一切

右新荷着精々廉價販賣仕候間多少に不拘御用命の程願上候

㋢

京城本町四丁目

增田分店

電話一五六六番

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐アレシン 穀物食鹽 諸般料類

發賣所

東京ランバード商會代理店

東京中外アスファルト株式會社代理店

東京千代田生命保險相互會社代理店

東京博文館發行書籍特約店

東京金港堂發行書籍特約店

藤田合名會社

本社 出張所

京城明治町二丁目 電話（三〇番）

酒精アルコール

直輸入元

仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）

坂倉支店

開業十五週年新築落成

四方の御得意樣益々御機嫌能御座被遊壽悦之至りに奉存候陳者今回貳丁目に新築致し御客樣方の御意を伺得るしこう仕り席御料理に丁字風呂をわかし消けつなる料理と親切と勉強を以て御注文に應じ安價をむねと致し候間何卒舊に倍し皆樣方の御引立を伏て奉願上候敬白

壽町會

御席 御料理 丁字風呂

壽町貳丁目

有明樓

電話七百三十八番

增築落成

高等御下宿

各室清潔洗湯設備あり舊倍御愛顧之程奉願上候

京城西小門通り

横松館

電話一五五番

和洋小物各種

新案 たびもた

堅牢で廉價 山まゆ織

京城本町一丁目 栗原商店 電話四八三番

出張店 京城本町五丁目

紙と印刷

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本

諸官衙御用

播本商店

京城本町六丁目

電話百拾番

三製紙會社製造板紙特約店

洋紙各種

紙函封筒 諸袋類製造販賣

京城長谷川町二丁目

鼎商會

電話九百十八番

電話開通一千五十番

朝鮮人向物品委托賣買所

東大門 池田出張所

田舍行馱馬運搬所

南大門外池田商會本店は今回從前の場所より牛丁西へ移轉し業務擴張仕り候間倍舊御引立相願候

食料品 雜貨商

京城御成町

池田商會

電話七五九番 振替口座朝鮮二四七番

ライト サンライト ムンライト

製菓部

純良消毒牛乳

京城東四軒町

岡野牧塲

電話千六十九番

●御賣は特に勉強仕候

宇治茶 仁川 電話四五〇

●地方よりの注文は迅速發送可仕候

恩給年金長期立替

確實取引月一歩五厘

京城中部鐘路坊相思洞廿九統七戸 下宿業博多屋方

上州屋出張所

瀛船出港廣告

月串、喬桐、海州行

天草丸 安來丸 成歡丸

隔日出港

仁川港海岸通（電話四一九）

柴田回漕店

芙江公州間出帆廣告

芙江發 毎日後一時（京城方面ヨリ急行接續）

公州發 毎日前七時（京城方面行急行接續）

（荷客共御取扱可申候）

御用向ノ御方ハ（京城仁川鳥致院芙江公州）中條店へ御申被下度候